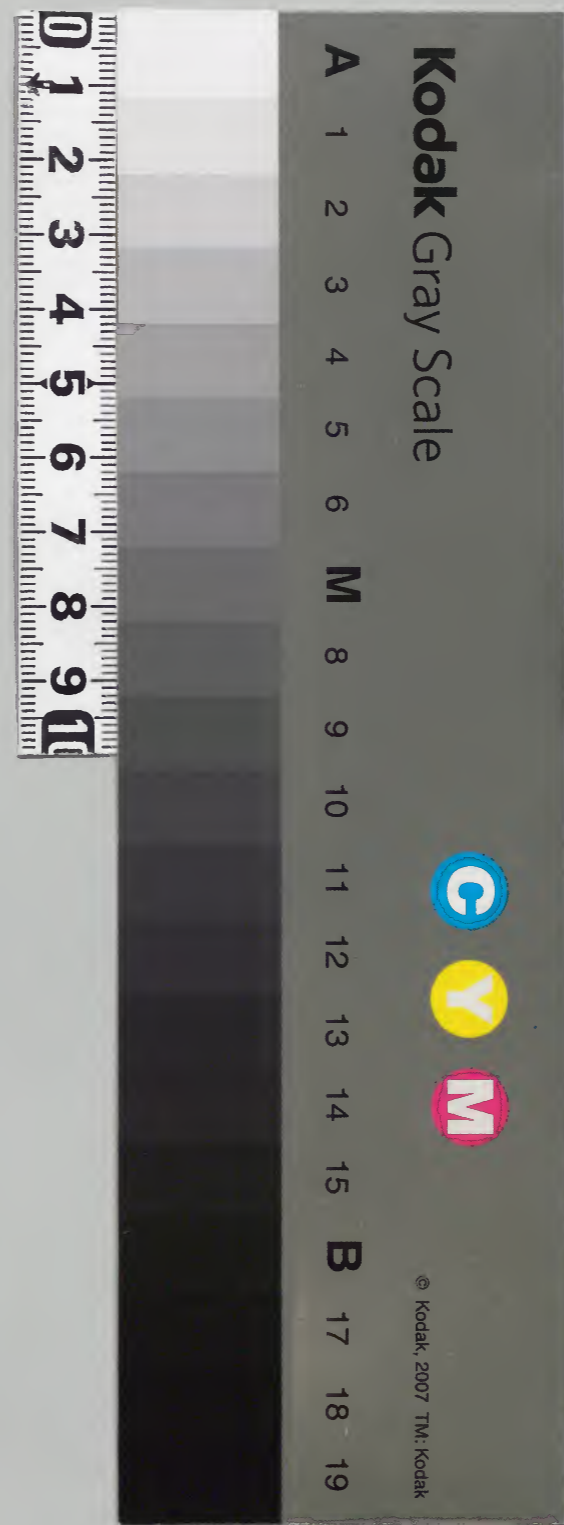


貞觀政要 三

庫	文	閣	內
九	一	六	和
一	七	七	書
函	二	八	
二	〇		
架	冊	號	類
			(三本)

內閣文庫	
番號	和 16728
冊數	10 ( 3)
函號	151 336



貞觀政要該解第三

錢草文庫

貞觀三年太宗侍臣三仰ケルハ君治レハ臣モ治リ君

亂ハ臣モ亂ル君安ケレハ臣モ安ク君危ケレハ臣モ危

レコレ君臣ニ躰ノ故ナリ君ハ忠臣ノ諫ヲキ、入臣ハ正直

ノ諫ヲス、ヌン上下心ヲ合スルハ古ヨリ善キスル處ナリ君

若自ラ賢ナリ自智アリナセハ臣ハ力ナカテ是ヲ正サン

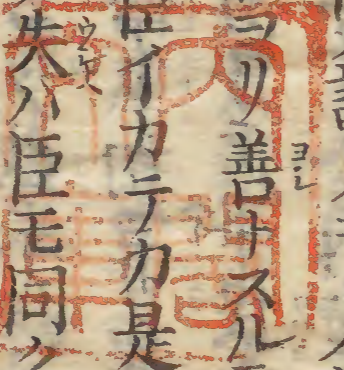
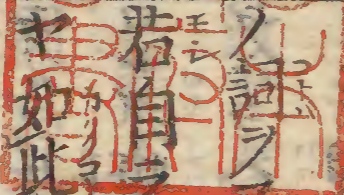
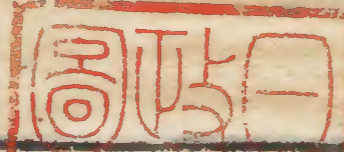
如此ハ危亡ニ至ヘシ君其國ヲ失ハ臣モ同ノ其家ヲ

全スルヲアタハレ隋煬帝無道ナレ臣下口ヲナチテ

モイハス煬帝其身ノアヤ、去ヲ聞サレハツイニヒス其

臣虞世基ト云モノ常ニ心ニカナヒテ富貴ナリレカ煬

帝ヲイサメサレハ世基モ果メ殺サルコレ近キコトナリ我



貞觀

卷三

一

一

今ヨリ汝等トツクシテ後ノ世ノ人ニアザケラレサルヘレ  
同四年太宗前代ノ隋ノ世ノコトヲ論ス魏徵奏レケルハ隋  
ノ世ニ盜發スルコトアリ煬帝怒テ於士澄ト云モラシテ  
オ又ハシム疑シキ者アレハイタタテ拷問ス皆盜ナリトテカ  
ラヌラモノ三千餘人並ニ斬罪ニアツテ獄奉行張元濟  
ヨリ自慚三具ニ尋問ハ盜六七人アリ初ヨリ罪ナキモノ  
ヲヒラヘテセメ若ル故ニ其悲ニタヘカ子テ平民モ自盜ナ  
リヨリ自狀スイヨクハ糺明スレハ三千人ノ内僅九人ニ  
ノ盜ナリ又ヨク知モノアリテ慥ニタ、世ハ九人ノ中四人  
ハ盜ニアラス此事奏セシトスレハ煬帝既ニコレヲ殺セ  
ト云故ニ重テ其コトハリヲ言上スルコトカナハス三千人

日ニ斬殺サル太宗聞テコレ煬帝カ無道ノミニニアラス臣下  
モ不忠ナリタニ諫ルコトナクメコヒヘツラヒ煬帝カ心ニ  
アツテヨミセラレント思フ君モ臣モカクノ如クナラハ如何  
ソ滅サランヤ汝等ヨク我ヲタスケ正メ罪人ナキヤウニ  
政ラシテ圜圜ムナシカラシメヨ圜圜ハ獄ノ名ナリ日本  
ノ籠舎也ヒトヤニ人ナキヲ圜圜虚ト云ナリ  
同六年太宗侍臣ニ仰ケルハ昔周ト秦ト初テ天下ヲ  
得コトハ異ナラス周ハ善ヲツトメ切徳ヲツミ八百年ノ基  
ヲタモツ秦ハ奢ヲ恣ニシタリニ刑罰ヲ行フ一代ニ亡  
ヒ又然レハ善ヲスルモノハ福長久ニテ惡ヲスルモノハ壽短  
短キニアラスヤ又夏桀殷紂ハ帝王ナリ惡逆ニメ亡

文要 卷三

ヒタリ故ニヤレキ匹夫モ桀紂ヲ以テ比スレハ辱トス顔  
淵閔子騫ハ貧キ匹夫ナリ賢人ノ名ヲ得タリ故ニ帝  
王モ顔淵閔子騫ヲ以テ比スレハ榮ナリトメ悦フ是帝  
王ノ大ナル耻ナリ我毎ニ此ヲ以テ戒ノカ、三トメ平  
生及ハサランコトヲ思テ入メタメニ笑ハレシコトヲ恐ル魏徵  
答ケルハ昔魯哀公アル時孔子ニカタラク甚モノワス  
シスルモノアリ宅ノ移徙スルトキニ其妻ヲ忘タリ孔  
子申サクコレヨリモ物忘スルコト甚キモアリ桀紂ヲ  
見ルニ其身ヲ忘レタリ願クハ君毎ニ此ヲ以テ慮トセハ  
後人ノ笑ヲヌカレシコトヲ  
同十四年高昌平ラク高昌ハ西域ノ遠キエヒスノ國

ノ名也久ク大唐ニ歸服セシメテ退治ス太宗悦テ  
臣ヲ召テ酒宴ヲタメフ房玄齡ニ勅スラク高昌若無禮  
ニテラスニハ亡フヘカラス我此一國ヲ平ケテ甚ラフルコト有  
騎ヲイニシメ諫シキ、テ自ラ我身ヲ正ラスヘレ邪ヲ除キ  
僕人ヲ退ケ賢人ヲ用ヒ小人ノ云フヲ以テ君子ヲソレル  
ヘカラスコレヲ以テツ、レニ守ラハ國家モ安タラシ魏徵ス、  
三出申レケルハ昔ヨリ帝主亂ラハライ勢ヲ得テ天下  
ヲ取時ハ必ツ、レニ用心メ賤キ者ヲ去ラフヲモ聞ウケ忠  
直ノ諫ニモ從テ人ノ教ヲウク其天下ステニ安キニ及テ  
ハホシイマ、ニ隨意ニテ欲ヲオク只ツイセウノ詞ヘツ  
ノオモ子ルコトヲコノミテ人ノ意見ヲ耳ニモヨセス昔張

良ハ漢ノ高祖智謀ノ臣ナリ秦ノ冬カヒ項羽ヲ争フ  
 時ハ張良カ申ク多高祖キ、テ從フ高祖ノ天下ノ主  
 トナルニ及テ張良アヘテ諫申ス天子ハ我ニナルヲ古今  
 相同レイハンヤ君ノ威徳ノ盛ナルヲ高祖ニマカルヘレ郎位  
 ヲリハヤ十五年君ノ恩ア、子クヒロレ今又高昌國ヲ  
 平ク然レ天下ノ安危ヲ心ニカケテ忠信善人ヲ用ヒ諫  
 言ノ路ヲ開ント思召下幸甚ト奏聞ス云云  
 同十四年魏徵上疏ス奏書ヲタテ、ツル、ヲ上疏ト云也  
 其畧ニ云ル趣ハ尚書ニ元首明哉股肱良哉ト云ハ堯舜ノ  
 世ニ君臣互ニ戒ルノ詞ナリ元首ハカヲヘナリ股肱ハモ、ヒ  
 ナリ君ヲ元首トシ臣ヲ股肱トス多トハ五体ノナリテ

今ナル如クニ君ト臣ト心ヲ同シ謀ヲ一ニ政ヲスレハ國ヨク治  
 ルナリ首尊シトイヘ凡手足ナケレハ人トナラス君明ナレ凡  
 臣下無トキハ治ラスニレ元首アキヲカニ股肱ヨイカナト  
 云ヘリ若元首アレキレキハ股肱忘リ萬事ヤフル故ニ君ト  
 メ臣下ヲ用ヒス獨其心之、ナレハ政ヲナスヘカラス君臣相  
 遇フ古ヨリアリカタキフナリ能遇トキハ諫ヲキ、入フ石  
 ヲ以テ水ニ投入カ如シ是ニレナルヲナリ若アソフ宜カラ  
 ハレハ水ヲ以テ石ニ投カ如レイカソ入フヲ得ンヤコレ君  
 臣道通セ上下隔リフサカル故ニ政ヲ治メカタレ天下  
 ヲ治ントナスハ内ニ君ノ心ヲ盡シ外ニハ臣ノカヲツクシ内  
 外和同スルハ官位俸祿ヲ與ルノニニアラス礼義ヲ以

テヨクアイサツスヘレ昔周ノ文王鳳凰ノ墟ト云取ニ遊トキ  
 鞭糸トケタリ左右ヲカヘリ見ニツカフヘキモノナレトニ文  
 王自ラ其糸ヲ結フ文王ノ臣ニ此糸ヲ結フヘキ人ナキニ  
 アラス礼ト無礼トノ間ニテナリト知ヘレサレハ伊尹ハ有莘  
 氏ノイヤレキ人ナリ夏桀コレヲ用ヒス殷ノ湯主其大賢ナ  
 ルヲ聞テ礼ヲ以テ招キ相共ニ桀ヲ討テ天下皆湯王  
 ニ從フ韓信初項羽ニ謁見スレレコレヲ用ルフアタハ高祖  
 へ來ケレハ大將軍ノ禮ヲ以テ韓信ヲ用ヒ諸軍ヲヒキイ  
 テ項羽ヲ亡スサキニ桀ハ伊尹ヲ用ヒ項羽ハ韓信ヲステス  
 メ礼ヲ以テツカハ、桀モ項羽モ滅亡スヘカラスト云  
 孟子イヘルコアリ君視臣如手足臣視君如腹心君視臣

如犬馬臣視君如國人君視臣如糞土臣視君如寇讎  
 寇讎ハアタカタキヲ云ナリ糞土ハチリアタタナリ君ノ禮  
 アルト礼ナキトノ不同ニヨリテ臣下ノアイサツフルナリ臣  
 下ハ二心ナレトイヘ斥君恩ノ厚薄ニヨリテ去ト去サルトノ義  
 一レハ君多ク人イツクシソ下ニ對メ無禮ナラヤ巳ヒソカ  
 ニ當代ノ群臣ヲ見ニ或ハ多ク軍兵ヲヒキヒテ大國ノ守護  
 トナリ或ハ朝廷ニ居テ位ニソナハカ政ヲトル皆當時ノ擇  
 出レタル者ナリ其役重シ然レレコレヲ信スルコト厚カラサ  
 レハ人コレヲ疑フ人自疑トキハ心信實ナラス故ニ節義ヲ  
 立ルナク人倫ノ教ヲコトナレ太平長久ノ福ヲタモチカ  
 シ又聞君令功臣ヲ愛メ其舊惡ヲヲモハスコレ宜シキ事ナ

リ然レ厄大ナル事ニ元フレテ小ナル罪ニ急ナリ事ニソ三  
 テ逆鱗スルトキハ人ヲ愛シ人ヲニクムノ私アリテ政ヨロシカ  
 ラス君其法ヲキヒレクスレ厄臣下コレヲ犯スフアリ上其源  
 ヲヒラケハ下ハイヨク甚レ川フサカレハ堤大ニクツルカ如  
 シ萬民手足ヲキ處ナクハイロクノ變出來テ必亂レシ  
 禮記ニ愛スレ厄其惡ヲ知リ憎メ厄其善ヲ知ルト云リ  
 若憎テ其善ヲ知サレハ善ヲスルモ必ソル愛メ其惡ヲ  
 知サレハ惡ヲスルモノイヨク多シ古人ノ怒リハ人ノ惡ヲヨラ  
 サメタメナリ今ノ怒テ人ヲ罰スルハ姦邪ヲメスナリコレ堯  
 舜ノ心ニアラス禹王湯王ノ政ニアラス尚書ニ我ヲ撫トキ  
 ハ后ナリ我ヲ虐スルトキハ離ナリト云リ我トハ民ナリ

民ヲナテ養トキハコレヲ君トス民ヲソコナヒヤフルトキハコ  
 レヲ養トスツ、レムヘキナリ荀卿モイヘルハ君ハ舟ナリ  
 民ハ水ナリ水ヨク舟ヲノセ又舟ヲクツカヘス故ニ孔子云  
 ヲ魚ハ水ヲ失ヘハスナハチ死ス水ハ魚ヲ失フトイヘ厄猶  
 モトノ水也故堯舜ノ天下ヲ治ルニ日々ヲソレツ、レメス  
 ト云フナレ何ソ深ク思ヒウマクハカラサシヤ大臣ニ任  
 ス厄ハ大体ヲ以テシ小臣ニ仰スルニ小事ヲ以テスルハ  
 國ヲ治ル常法ナリ今事ヲ行ハレハレニ役ヲ以テスルキ  
 ハ大臣ヲ重シメ小臣ヲ輕シ若事アルトキニ至テハ小臣  
 ノイフヲ信メ大臣ヲウタカフ其輕スル處ヲ信メ其ヲ  
 モニスル處ヲ疑フイカニソ治ヲ求ニヤ夫政ハ常ノ法

アリレ屢改ルフヲヨシトセス小臣ニハ大体ヲサハカセ大臣  
 六小事ヲアテカハ、小臣ハ隙ニアリ大臣ハ守ル處ヲ  
 失フ故ニ大臣ハ小過ヲ以テ罪ヲ得小臣ハ大体ヲ以テ  
 罪ニアテル行フ處其位ニアラス罰スルモ其罪ニアラス  
 如何ソ宜レカルヘキヤ小臣ニハ大ナルフヲ任スヘカラス  
 大臣ニハ小罪ヲセムヘカラス既ニ大官ヲ授テ其コノカチ  
 ル過ヲ未レハ時ノ史法ヲヘテ其罪ヲカサル是ヲイヒワ  
 ケントスレハ法ニ背クトシ又イハサレハ其罪偽ナレ實ニ犯  
 也トス進退キハリテ自ライヒアキラヌス只罪ヲマヌカレ  
 ントスルハカリナリ又大臣其カヲツクサントスレ厄事ニヨリ  
 テ忌避處アリコレイハサレハカヲ盡フアタハス若人ヲ

アケ用ヒハ故舊ヲモキラハス疎遠ヲモヘタテス信ヲ以テア  
 サツセスハ君臣共ニ失アリ上トス下ヲ信セスハ下モ信ナカルヘ  
 レ上モ又疑アラン禮記ニ上ノ人疑トキハ百姓惑フト去リ上下  
 互ニ疑トキハ治ルヘカラス今群臣ノ内遠方ニ居モノ一言ノ  
 謬ニカ、ラハ必罪ニアハン夫天下ノ廣キ萬人ノ多キ何ソ一  
 二人ノ信スヘキモノナカランヤコレヲ信スレハヨシコレヲ疑ヘハ  
 信スヘキ人ナレコニ三人ノ中ヨク友タランハ互ニ身命ヲス  
 テ、モ志ヲ變セハ況君臣ノ交魚ト水トノ如シ君ハ堯舜  
 たり臣ハ稷契タランカ如キハ小事ニ逢テ志ヲ變セス小  
 利ヲ見テ心ヲ改ルナレ下ノ忠信イマタ明ナラサルハ上ノ  
 信ナクアイサツク薄キ故ナリ論語ニ君ハ臣ヲツカフニ礼ヲ



以テレ臣ハ君ニツカフニツルニ忠ヲ以テスト云ヘリ今君ノサ  
トク明ナルヲ以テ此大功大業アル上ニ博ク賢オノ人ヲ求  
テ上下心ヲ同メ政道ヲ成ハニ皇ハ四トナリ五帝ハ六十ナ  
テニ夏殷周漢ハ何ソ數ルニタラニヤト申ス太宗フカクヨ  
ニセラル

同十六年太宗問魏徵仰ケルハ我私ナク政ヲレテ前烈  
ニ及ニトス積德累仁豊功厚利此四ノモノヲ常ニ本トス我  
己ヲツトメシト思フ人皆自ラ見フアタハス我ヲ知カタキ  
フナリイカントアレハ魏徵答ケルハ德ト仁ト功ト利トノ四  
ナカラ君今兼テ行タムフ内ニハ禍亂ヲ平ケ外ニハ四方  
ノ至ヒスヲ除ク是君ノ功也萬民ヲ安メ各其ナリワイヤ

リ是君ノ利也然レハ功ト利トマコトニ多シ豊功厚利ト申  
スヘレ只德ト仁トハ君イヨク自ラツトメテ息サルヘレ勤テ  
ヤマスニハ德ト仁トヲ致ヘレ

同十七年太宗勅スラク古ヨリ草創ノ君其子孫ニ至テ  
多ク亂ルフハ何ソヤ房玄齡答ケルハ是ハ幼主ノ生テカ  
ラ禁中ノ深處ニシタチ少ヨリ富貴ニ居テ世間ノ真偽  
國家ノ安危ヲ不知カタメナリ是故ニ政ヲスルフ多ク亂  
ト申ス太宗聞テ公ノ言ハ過ラ君ニ推吾ハ則咎ラ臣  
下ニ歸スソレ切臣ノ子弟多ク無能無才ナレ臣父祖ノ蔭  
ヨリ相續テ太官ニホリ德ヲオサメス義ヲ行ハズ驕恣  
ナルヲコノム主君ハ幼弱ナリ臣又才智ナレタラレトモ

ラスケス何ソ乱ルナカラシヤ宇文述ハ隋ノ功臣ナリ煬  
 帝其功ヲ以テ其子宇文化及ヲ又キニテ高位ヲ授ク  
 其恩ヲ報ニテ思ハス却テ逆心ヲ企テ煬帝ヲ殺ス是臣  
 下ノ罪ナリ吾今コレヲ云フハ公等カ子弟ヲ過ナカラシメ  
 シトヲ思フコレ國家ノ慶ナリ太宗又曰宇文化及ト揚玄  
 感トハ共ニ隋ノ大臣ニテ深恩ヲ受タル者ナリ皆謀反スル  
 コハ何ソヤ岑文本答ケルハ君子ハ徳ヲオモヒ恩ヲイタ  
 タイテ忘ルコトモナク背コトナレ玄感化及ハ皆小人ナリ此  
 故ニ古人ハ君子ヲ多ツトヒテ小人ヲイヤレシト申ス太宗  
 コレヲレカリトス  
 貞觀元年太宗アル時房玄齡ニ勅スラク治國ノ本ハ明ニ

才能スハカリ其職ヲサツケテ官ノ負シ省コトヨレ故ニ尚  
 書ニ多ク官ヲ任スルコトハタノ賢オヲセヨ又曰官ハ必シモソ  
 ナラントセスタ、其人ヲセヨ若善人ヲ得トキハスクナレト  
 イハ庄不足ナレ不善ナル者ハタトヒ多レ庄ナニカセシ故ニ古人  
 官ニ任スルニオアル者ヲ得サルヲ以テ地ニ盡テ餅ヲナスニタ  
 トフ不可食サレハ千羊ノ皮ハ一狐ノ腋ニレカスタトハ裘ヲ  
 ツクル者ハ羊千疋ノ皮ヲ得テモ貴フニ不足狐ノ毛ノ白ハ  
 マレナル物ナリコレヲアツメテ作ルヲ狐白裘ト名テ希代  
 ノ寶物ナリオ智アル者ヲコレニタトヘテ愚ナル者ヲ羊ノ皮  
 ニタトフ今官ノ数ヲ定テ官ト人ト相應セシムヘシ然ハ則無  
 為ニメ治ラシ公等詳ニ此理ヲ思テ官位ヲハカリ定ヨ玄

齡等コレヨリテ文官武官合テ六百四十員ヲ置太宗ヨ  
レニ從フ則玄齡ニ仰ケルハ今ヨリ若樂土雜伎類其術當  
ノ輩ニ言ハタルモノアラハ只錢帛ヲ與テコレヲ賞スヘレ必ス、  
メテ官爵ヲ授クヘカラス若妄ニ官位ヲ授ハ朝廷ノ君子  
ト肩ヲナラヘテ立チ座ヲ同レテモノ食ヲコレモロクノ官人  
ノ耻ナリ尤イニレムヘレ  
同二年太宗房玄齡杜如晦ニ勅スラク公等ステニ大臣  
トナル吾辛苦ノ憂ヲタスケテ廣ク四方ノ耳目ヲヒラキ  
賢人智者ヲ問求ヘレコノコ聞ニ公等訟ヲ聽トキ一日ニ  
數百條アリ如此ハ其狀ヲ讀ニ隙ナカルヘレ何ソヨク我  
ヲタスケテ賢オヲ求ニヤコレニヨリテ尚書省ニ勅メ細

ノ務ハ皆左右丞ニツイテ聞ヘレ細碎ハコニカニクタクシキ  
小事ナリ尤右丞ハ左丞右丞ノ二ノ官ナリ尚書省ハ百  
官ノツカサナリ日本ノ太政官ノ如シ寃滯ノ太事ノ奏  
聞スヘキヲハ僕射ニ申スヘレ此時玄齡等僕射タリ  
同二年太宗仰セタルハ吾毎夜百姓ノ間ノコヲ思テ夜半  
ニテ不眠只都督刺史ノヨク百姓ヲ撫養ヤ否ト云フヲ  
オシレ思フ都督ハ諸國ヲ守護スル處々ノ司ナリ刺史ハ  
太守ノ類ナリ故ニ屏風ノ上ニ都督刺史ノ姓名ヲ書レ  
坐レテモフレテモ常ニコレヲ見ル官ニ在テ善事アレハ其名  
ノ下ニ書ツラ又吾禁中ノ奥ニ居テ耳目ノ見聞トコ遠  
ニ不及其事ヲ下カセテ行レムルハ都督刺史ナリ此等

卷之三  
十一

ハハコトニ國ノ治亂ノカ、ルトコロナリ、充其人ヲ擇ヘシ

同二年太宗封德彝ト云ヘル大臣ニ仰ケルハ國ヲ安スル

ノ本ハ善人ヲ得ニアリ、頃汝ニ命シテ賢オヲ舉レムイニ

又擇ス、ムルトコロアラス天下ノ事大ニ重シ吾憂ヲ分ヘ

シ汝モシモノイハス、吾ナニヲ以テカヨカラシ答テ申サ

ク臣愚ナレ用心ヲ盡サ、ラニヤ未スクシタル才能ノ者ヲ不

見太宗又仰ケルハ前代ノ明主ハ人ヲ使コト器ノ如ニスレ

ノレノ分際相應ニ人ヲ使フヲ器ノ如ニスト云フ、又トハ舟采

ヲヤリ車ハ陸ニヒク戈ハ人ヲサレ楯ハ自ラ、モルノ類ナリ

人ノ用ニ立トコロヲ以テツカフハ器ノ如シ故ニ當代ノ人ヲ

取テ用ヘシ前代ノ賢人ヲ今何ソカルコトヲ得シヤイカシ

必シモ武丁ノ夢ニ傳説ヲ見文王ノ岐ニ出テ太公望ニ逢カ如

シレテ政ヲスヘケンヤ吾思ニイツレノ世ニカ賢人ナカラシ今モ尋

テ問ハ賢人有ヘシ只忘テ不知ナリ封德彝コレヲ聞テ赤

面シテ退ク

同三年太宗杜如晦ニ仰ケルハ頃吏部ニ人ヲエラフヲ聞シ

只其モノイヒモノカクモノヲ取テ其人ノ行跡ヲツマヒラカニ止

ス吏部ハ人ヲエラヒテス、メ用ルヲツカサトル官ナリ數年

ノ後惡キ行跡アラハ刑罰ヲ加フトイヘ凡百姓ステニ其ツ

イヘシ受イカシ善人ヲ得ヘキヤ杜如晦答ケルハ前漢後

漢二代四百年ノ間人ヲ取テ其行跡ヨク在所ニカクレナ

ク又州郡ヨリ其人ヲ貢メ後ニコレヲ用ユ故ニ其時善士多

トホメタリ今毎年人ヲエラヒアツムルヲ數千人其良ヲカサ  
 リ其詞ヲカサルヲ知カタル吏部ノ役者タ其位階ノレ  
 ナラ配スルニテナリ人ヲエラヒ知ノ理イマタクワレカラスコ  
 ノ故ヨキオヲ得フナレト申ス太宗スナハチ漢ノ時ノ法ニ  
 ヲリテ其本州本郡ヲレテ召上レメントス然ル處ニ功臣  
 等世封セシトスルニアラテ此事ツイニヤム

同六年太宗謂魏徵仰ケルハ古人云王者ハ官ノ多クニシテ  
 エラフアハテ卒爾ニ人ヲ用ヘカラス我今一事ヲ行ヘ天下  
 コレヲ見ル一言ヲ出セハ天下コレヲ聞ク正人ヲ得テ用ルトキ  
 ハ善ヲスルモノ皆イサニ娛テ悪人ヲ用レハ悪人キツヒ進  
 ム恩賞其辛勞ニカナハハ功ナキモノオノツカラ退キ刑罰

其罪ニ當レハ惡ヲスルモノイマレニ懼ル故ニ賞罰カルクニ  
 ク行ヘカラス人ヲ用ルヲイヨクツハレニ擇ヘキヲ知トノ  
 タニフ魏徵答ケルハ人ヲ知フハ古ヨリヤスカラス故ニ三年  
 ノ間國守ノ政ヲカシカハ其善惡ヲ明ニセリ今人ヲ求ントセ  
 ハ必其行迹ヲ審ニスヘレ若其善ヲ知テ後ニコレヲ用ルト  
 キハタトヒ此人ヲレテ事ヲナスフアタハス凡唯是共オカノ  
 及サル也大ナル害ヲナサス若アヤニツテ悪人ヲ用レハツヨ  
 クオ幹ナレ厄害ヲナスフ多但亂世ニハ只其オヲ求テ  
 其行迹ヲカヘリニス太平ノ時ニハ必ス其オト行ト相兼  
 タルヲ以テ任用スヘレ

同十一年馬周言上スラク天下ヲ治ルフハ人ヲ以テ

本トス百姓ヲ安樂ナラシメント世ハ刺史縣令ヲエラフヘシ  
 刺史ハ國守ナリ縣令ハアカタ奉行ナリ縣令ハ多アシハ  
 悉皆賢ナルヘカラス若毎州ヨキ刺史ヲ得トキハ其州  
 人民ヨロコフ天下ノ刺史皆君ノ心ニカナハハ君無事無  
 為ニメ百姓オノツカラ安穩ナラシ古ヨリ刺史縣令ヲハ  
 其賢徳ヲエラヒテツイニ六此人ヲ大將トシ宰相トメ大ニヨ  
 ク用ニタメナレハ必先試ニ民ヲオサメレム或ハ一郡ノ守ヨ  
 リ京ヘ取リ召テニ公ノ位ニホスフアリ然レハ君ノ尤  
 右ノ臣ヲ重スルノミアラス刺史トシ縣令トスル人ヲエラフ  
 フ何ツカルクシクセンヤ刺史縣令ヲ輕スル故ニ百姓ア  
 ヤウシ太宗コレヨリテ仰ケルハ刺史ヲハ我自ラエラヒ

用ヘシ縣令ヲハ五位以上ノ京官ニ勅メ各一人ツク奉ケヨ  
 同十一年劉洎オモハク左丞右丞トナルモノハ其人ヲ擇ヘ  
 レトコレヨリテ言上シケルハ尚書ノ萬機ニコトニ政ノ本  
 トス尚書ハ天下ノ政ヲ行フ處ナリ日本ノ太政官ニテ左大  
 臣右大臣大納言以下勅ヲ奉テ下知シ又奏聞スヘキコトヲ  
 ハ言上スルカ如シ帝主ノ心一ツニテ百千ノコトヲシタヘテ萬  
 機ト云ナリカツコト善惡ノキサシハ一心ニアリ故ニカ機ト  
 云フ機ハキサシトヨメリ善心キサセハヨキ政トナリ惡心  
 キサセハアシキ政トナル故ニコレヲ政ノ本トス故ニ此官ニ  
 備ルモノハ大臣ヨリ以下ノ下ツカサマテモヨキ人ヲエラフ  
 ナリ官ト人ト相應セサレハ位ヲヌスミテ國ノソレリヲ起

ス近日コレヲ見レ六仰出ガル、勅定モト、コホリ下ヨリ  
 訴ル目ヤスノ類モ通セス負觀ノ初比ニハ此官事多ク  
 今日ヨリモレケレ然レ在戴曾魏徵二人左右ノ丞トナリ  
 テ並ニ法度ニサトク生レツキ正直ニメ是非ヲ明ニシテ  
 キコラタハス一私ナクヨケサクルコトナレ君モ又ウツクレ  
 ミアリテ自ラ人々ツ、レメリコレヨリテ此ノ官ノ外ノ人  
 人モオコタルコトアラス杜正倫ト云人此二人ノアトヲツイテ  
 右丞トナルヨク世ヲハケ、ス左丞右丞ハ尚書省ノ下  
 ツカサナリ近比其法スタル、ハ君ノ親類縁者此位  
 ニアリ其才智ト官位ト相應セス只イキホイヲ振フ  
 故ニ諸官人モ公ニシタカハス私ヲ立テ時メキアヘリ自

ラツトメタルナ、ニトスルモノソハヨリ先コレラソレル尚書ノ  
 下ツカサ郎中只奏聞セト云テ其事延引レ或ハアナ  
 タハツカニカコナタヘレタカハシカト云テ決定セス萬事永  
 ク定コナクヤ、モスレハ年月ヲスク或ハ上ノ意ニ從ニトテ  
 我心ニヨシト思子居イカントモ申サス或ハ人ニキラワレ  
 ニトテ憚テ理ヲ枉ルコトアリ是非ヲキハメス只上ニ從フ  
 フ奉公トス相互ニ當座ヨキヤウニメアヤ、チノアラワレ  
 サル事ヲ專トス夫人ヲエラニ官ヲサツクルハ才智ア  
 ルヲ用コイカニソ不能不才ノモノニ官位ヲ加ニヤ君ノ  
 親類ヲハ位高クス在政ヲセシムヘカラス但賢ナラハ政  
 ラサツケテモヨロシナ、レイニ位高メ不賢ナラハ政ノ妨

トナリテ橋出<sup>ハシ</sup>來ス又久ク勲<sup>イサ</sup>功アルモノ年老或病者ナ  
 ラハ才智モク<sup>エ</sup>ラカルヘシ時ニ益<sup>エキ</sup>ナレトテスニラレスコレニハ  
 養<sup>ヤシ</sup>フヘキ物ヲ與<sup>ユル</sup>テ隱<sup>カクレ</sup>居セシメヨ今ヨリ官位相應<sup>オウイ</sup>ノ  
 人ヲ得<sup>エ</sup>ントナラハ尚書ノ充丞右丞并郎中ノ官ニオクヘ  
 キ人ヲエラヒテ其官ニ勅<sup>ツケ</sup>メヨキ人ヲ求ムヘシ然ラハ法  
 度<sup>ホド</sup>乱レズ政道ト、コホラス、カレルモノモ正ク怠<sup>オソク</sup>ルモノモハケ  
 ムレ何ソ政事延<sup>ヒキ</sup>引メ久ク年月ヲ送<sup>ツク</sup>テアラシヤ太宗此奏  
 ヲ聞<sup>ク</sup>テヨレトシヤカテ劉洎<sup>リウビ</sup>ヲ尚書充丞トス

同十三年太宗侍臣ニ仰ケルハ太平ノ後ニハ必<sup>ズ</sup>太平<sup>ニ</sup>亂<sup>ル</sup>アリ  
 太平ノ後ニハ必<sup>ズ</sup>太平<sup>ニ</sup>亂<sup>ル</sup>アリ太平ノ後ハ即是太平ノ運<sup>ウチ</sup>也  
 凡<sup>ソ</sup>キハ必<sup>ズ</sup>變<sup>ハ</sup>スル道理ナルヘシヨク天下ヲ安<sup>ヤス</sup>ニスル

ハ賢オヲ得ルニアリ汝等ステニ賢人ヲレラス我モ又ア、子  
 知カタル只日ヲ送<sup>ツク</sup>ル、テニテ賢オヲ得<sup>ル</sup>キ理ナレ今其人ヲレ  
 テ自<sup>ラ</sup>擧<sup>ゲ</sup>シメト思<sup>フ</sup>ハイカニ魏徵<sup>ケイテイ</sup>答ケルハ人ヲ知ルハ智  
 者也自<sup>ラ</sup>我ヲ知ルハ明ナルモノナリ人ヲ知<sup>ル</sup>フステニ難<sup>カク</sup>シ自  
 知<sup>ル</sup>ト、コトニ又難<sup>シ</sup>レオロカニクヲキモノハ皆已<sup>レ</sup>レカ能<sup>ク</sup>ニホコリ  
 小善<sup>コト</sup>ヲカサリオコルトキハ風俗<sup>フウゾク</sup>ウスクナルヘシ自<sup>ラ</sup>擧<sup>ゲ</sup>シムヘカ  
 ラスト申<sup>ス</sup>ス古<sup>ク</sup>ニハ諸人皆其人ヲ試<sup>シ</sup>テ能<sup>ク</sup>アリ賢ナリトタレ  
 カニ知<sup>ル</sup>テ私<sup>ニ</sup>ナク上<sup>ニ</sup>申<sup>ス</sup>メコレヲ用<sup>フ</sup>フ自<sup>ラ</sup>其身<sup>ミ</sup>ヲアクヘカラス  
 同十四年魏徵奏<sup>ス</sup>レケルハ臣ヲ知ルハ君ニシクハナレ子ヲ  
 知<sup>ル</sup>ハ父ニシクハナレ若<sup>シ</sup>父其子ヲ知<sup>サ</sup>レハ家ヲト、ノフナレ  
 君其臣ヲ知<sup>サ</sup>レハ國ヲ治<sup>ル</sup>ルナレ諸國<sup>シヨコク</sup>皆<sup>シ</sup>ツカニ君モ慶<sup>ヨシ</sup>



アルハ必<sup>シ</sup>キ臣下ヲ以テタスケトス賢人用ラレテ官ニア  
ルトキハ諸事ト、ノホリテ朝廷無為ナリ昔堯舜ノ世ニハ  
八元八凱トテ十六人ノ善人アリ政道ノ切ヲ成文王武王  
時ニ周公召公ノ二人ノ聖賢ニ公ノ位ニホリテ善キヲ  
ラツメタリ如此ノ人何必シモ古アリテ今ナカルヘキヤ末  
末ニヤト好ムト好ムサルトノ不同ナリ異國ノ宝物名馬  
或ハ定ナク或ハ心ナク遠キ千里ノ外ニアリトイヘハル  
ハル來獻上スルハ大唐ニコノム故ナリイハシヤ君ニツカヘシ  
ト志スモノ皆君ノ恩禄ヲ受タルトナレハ禮義ヲ以テヒキ  
并タマハ諸方ヨリ到來スヘシコレニ孝ヲ教ヘハヨキ孝行  
人トナルヘシコレニ忠ヲ教ヘハヨキ奉<sup>ル</sup>人トナルヘシコレニ

信ヲオシハヨキ表裏ナキ臣タルヘシコレニ廉ヲ教ヘハ無欲ノ  
人トナルヘシタ、今ノ群臣ニタ、レクキヨクタクシタルモノ希ナル  
ハ上ヨリ求ルヨクタレガナラス励ス<sup>ル</sup>クワレガラサル故ナリ若  
ツトメシハ私ナクニ心ナキヲ以テシコレヲ待ニ小キ事ヲサ  
シヲキ大ナルヲ以テセハ各其官ニツキタル役ニ急ナク其道  
ヲ行ニコレヲ位高ス、メテ其オコナフ處ヲ見コレニ財ヲ多ク  
與テ其養<sup>フ</sup>處ヲ見其常ニ好ム處ヲ見其ナルトキニモ  
イフヲ見コレヲ困窮セシメテ不義ノ物ヲウケサルヲ見コレ  
ヲイヤレクシテ其惡事ヲセガルヲ見ヨ其オヲハカリテコレヲ  
取其能<sup>ク</sup>ヲツ、ヒラカニ事ヲ行ハシメ其長スル處ヲ用<sup>ヒ</sup>其  
長セ<sup>ル</sup>處ヲオホヒコレヲ進ルニ六正ヲ以テシコレヲ戒ルニ六

長セ<sup>ル</sup>處ヲオホヒコレヲ進ルニ六正ヲ以テシコレヲ戒ルニ六

邪ヲ以テ世ハオトサ、レ氏自ラハケ、レ勸サレ氏自ラ勉メシ  
 説苑ト云ル書ニ臣下ノ行ニ六正六邪アリ、六正ヲ行ハサカ  
 へ六邪ヲ犯セハ辱シメラル何ヲカ六正ト云キ一ニハキサレイ  
 一タウニカス形イ、タアラハレサルトキニ明ニ存亡治乱ノ要  
 フ見テ分明ニ未然ノ前ヲ戒テ君ヲシテ顕露ニ富貴尊  
 榮ノ位ニ居シム如此ハ聖臣ナリニツニハ心ヲ平カニ志ヲ  
 盡メ日々ニ善事ヲス、メ君ヲツトメシムルニ礼義ヲ以テシ  
 君ヲサトスニヨキハカリコトヲ以テシ其ヨキニハ從ヒ其惡ヲ  
 ハタスクフ如此ハ良臣也ニハ朝早オキ夜フケテイ子  
 賢ヲス、メテ懈ラスシハ古ノヨキ行ヒラノ人テ君ノ心ヲ  
 ハケマス如此ハ忠臣也四ツニハ明ニ事ノ成ト敗トヲ見シ

リ早コレヲ止キ救其ヒ、ヲフサキ其源ヲフサキ禍ヲ轉  
 メ福トシ君ノ憂ナカラシム如此ハ智臣ナリ五ツニハ文ヲ  
 守リ法ヲウケ官ニ應メ事ヲ行ヒ人ノヲクリ物ヲウケス  
 禄ヲ辭退レ恩賜ヲユツリ朝夕ノ飲食ツ、マヤカナリ如  
 此ハ貞臣ナリ六ニハ國家昏亂ナレ氏ヘツラフヲナク諫  
 テ逆鱗ニアヒ君ノアヤ、チヲ去フ如此ハ直臣ナリコレ六  
 正ト申ナリ何ヲカ六邪ト云フヤ一ニハ官位ヲ得テ俸禄ヲ  
 ムサリ公ノ事ヲツトメス世ト浮沈シアラナクナタト左右  
 ヲ見合テ世ヲツタルモノハ具臣ナリ人オニクノモノヲ具  
 臣ト申スニハ君ノイフ處ヲハ皆ヨレトイヒ君ノスル處ヲハ  
 皆然ヘレト云テレノヒヤカニ君ノコトヲ求テコレヲス、メ君

ノモク處見處ヲヨロコハレメ當座ヤカナニ許容セラレテ  
君ト同ク安樂ラレテ後禍ヲカヘリニスコレ諛臣ナリ諛  
ハシクテトヨメリイツハリテ人ニツイセウスルコトナリニハ心  
中ケハルクヒカミ外ハリチキテ九体ニテ詞ヲヨクタク三顔  
色ヲツクリカサリ善ヲソ子ニ賢ヲ子々ニ已レカ進ト思  
フモノハ其ヨキ事ヲアラハメ其悪事ヲカクレバレカ退ケ  
ト思フモノヲハ其小過ヲアラハメ其ヨキコトヲカクテ君ノ賞  
罰ニタリニテク号令下知行レサルヤウニスルヲ奸臣ト云テ  
リ奸ハカタニレトヨメリ心ニ悪ライタイテ外ヘカクスヲ奸  
ト云リ盜賊ノ心是ナリ四ニハ智ハ非ヲカサリ辨白ハイウレ  
アルヤウニモノヨクイフテ骨肉ノレタレキヲモハチレ朝臣ノ

亂ヲモカマシコレ諛臣ナリ人ノ善悪ライヒ亂ヲ黒白ヲワケ  
サルナリ鴉ヲ鷺ト云カ如ニ人ヲソレリカク元也五ニハ權柄  
ヲ專トシ威勢ヲホレイニハニレ輕ヲ重トレ已レカ一門徒  
黨ヲ成テ其家ヲ富貴ニシ君命ライイツハリカコツケ自ラ  
タカフリホコル是賊臣ナリ六ニハ君ニハツラフニ佞邪ヲ以テ  
スロヲヨクキハテ正カラサルヲ佞邪トス君ヲ陷ニ不義道  
ヲ以テス惡處ニ入テ出ガハルヲ云ナリ其相トモナフモノ比  
周メ君ノ目ヲクラーハス相共ニヒカコラレテ互ニカクスヲ比周  
ト云リ故ニ白黒ヲモワカタス是モ非モハタテオレ君ノ不善  
ヲ國中ニヒロメ四方ヘモキコヘルムコレ亡國ノ臣ナリコレヲ六  
邪ト申也賢臣ハ六正ノ道ニ居テ六邪ノ術ヲ行ハス故上

安下オサマル生ルトキハタノレニ死トキハ忘ラレスコレ臣  
 下ノ道ナリ禮記ニハカリステニカクレハ輕重ヲ欺ヘカラス  
 墨カ子ステニツラヌレハ曲直ヲ欺ヘカラス規矩ニコトニ設ル  
 トキハ方圖ヲアサムクヘカラス欺トハ偽ヲイフテ眞實ノ  
 ヤウニス人ヲタラスコトナリ君子禮ヲツヒラカニ明ニスル  
 詐ヲ以テ誣カタル女姦詐ハカタルレキイツハリナリ誣ト  
 ハ無實ヲ人ニイヒカクルコトナリ然則臣下ノコトイツハリ  
 知ヤスレ又君トメ礼ヲ以テ臣ニアヒ法ヲトリテ臣ヲツカラ  
 善ヲスルモノハ賞ヲ蒙リ惡ヲスルモノハ罰ヲウク如此レテ人  
 トイツクニソ善ヲ企サフニイツクニソ奉ル公ノ力ヲ盡サラ  
 ニヤ君十餘年ノ間忠良ヲス、メ不肖ヲ退ケント思召ト

モタ、其綸言ヲ聞テ其善人ヲ見フナレコレ其イフ詞ハヨ  
 ケレ其行ヒハ非ナリ詞ノヨキハ私ナレトナヘ行ヒノ非  
 ナルハ邪道ニ入是モ非モ相ニタレコノムモニクムモ相セメタル  
 イトホレニアルモノハ罪アレハユルサレニクメルモノハ罪ナケレハ  
 罰シ、ヌカレス是論語ニ愛スルトキハ其生ラシコトヲ欲シ惡  
 ヲトキハ其死シコトヲ欲スト云是也或ハ小惡ヲ以テ大善  
 フステ或ハ小過ヲ以テ大功ヲ忘ルコレ功ナキヲ以テ君  
 ノ賞ヲ求ヘカラス罪アルヲ以テ君ノ罰ヲ、ヌカルヘカラ  
 ス賞ハ善ヲス、メ罰ハ惡ヲユラスヘカラスハ邪正トハサ  
 ルコトヲ得ヘカラス若ウトキモノモ忠アレハ賞レ親ク貴キ  
 人ニ罪アレハ罰レ公平ヲ法トレ仁義ヲ定本トレ事

シカシカヘテ其名ヲ正クシ名ニ循テ以テ其實ヲ求ルハ  
邪正カクル、レヤモウナク蓋し惡オノツカラ分レシ然レモ後ニ其實  
ヲ取テ其華ヲタツトハス其厚キニ君テ其薄ニ君スハ無  
為ノ政一ケ月ノ間ニメ知ヘレ若クハ外ノウツクニキシ愛メ  
人ノ又相應ノ官ヲエラハスハオホヤケノ詞ナリ凡オホヤ  
ケノ實ナケシオホヤケハ私曲ナキヲ云ナリ若愛ニオホレ  
テ其人ノ惡ヲ知ラス憎フ甚メ其人ノ善ヲ忘レ私ノ意  
ニレタカツテ邪人佞人ヲ近シケ公道ニ背テ忠臣良臣  
ヲ遠サケハ晝夜不怠心ヲ勞レ慮ヲ若レム凡政ノ治  
ニイラ得カラス太宗此奏狀ヲ見テ甚ヨシトメ許容  
シタマフ

同二十一年太宗翠微宮ニ行幸アリ此ハ長安ニアル離  
宮ナリ李緯ト云ル臣ニ戸部尚書ヲ授ラル天下ノ民ヲツ  
カサトリ年々其民ノ數ヲレリ又年貢以下ノヲモサ  
ハクツカサリ房玄齡此時京城ノ留守タリ京城ヨリ  
使者冬々く來ケルハ太宗其使者ニ向テ李緯カ戸部  
尚書トナルヲ房玄齡ハ聞テオニトカ云レ使者答ケルハ  
玄齡申サク李緯ハ大ナルヨキ鬚男ナリ吏別ノ詞ナレ  
ト奏ス太宗コレヲ聞テ戸部尚書ノ官ヲ改テ洛州ノ  
刺史トスコレハ玄齡カ意ハ李緯形儀ヨケレ凡此官ニテ  
凡キ才智ナレト思ナルニ諫サレ凡ヨク聞入ルハ太宗也  
同二年房玄齡ヲ封メ邢國公トシ杜如晦ヲ秦國公

長孫無忌ヲ齊國公トシ並ニ第一等トシ食邑千三百戸此三八皆三公トナリ國主トナリテ大名ナリ太宗天下ヲ取ニ即位ノ初ニ恩賞ヲ行レケル時太宗ノ父高祖ノイオ淮南王神通申サレケルハ君ノ義兵初起時我兵ヲヒキ井テ先早至ル今玄齡等文筆ノ人ニテ第一ノ功有テ我心ヒソカニ服セテ太宗仰ケルハ國ノ大九ノハ賞ヲ罰トノニツテ賞其辛勞ニヨク當トキハ功ナキモノ自ラ退ク罰其罪科ニヨク當トキハ惡ラスルモノコトククオソル然レハ賞モ罰モカルクレク行スハカラス今勳功ヲハカリテ恩賞ヲ行フ玄齡等我左右ニアリテ謀ヲハシラレ天下ヲ定ル功アリ昔漢蕭何汗馬ノ苦勞ナ

シトイハテ獵師ノ鷹ト犬トヲツカフテ鳥獸ヲ得カ如シト云フタテハヲ以テ第一ノ功トス淮南王我一族ノ近キ親類ナレハ尤愛スヘレ何ノ國ヲ分チヤラシラテ惜ニ但私ニ從テミタリニ大功ノ臣ト同ク賞スヘカラスコレニヨリテモ口ノ功臣相方タリテ申サク君今公ニ私ニ賞セス吾等何ソニタリニ訴ニヤト云フ初高祖ノ時其門ノ末ニテモ王號ヲウクルモノ數十人太宗ノ時勅スラク漢ヨリ以來帝ノ子弟親族ヲ封ス其親類ノ遠キモノハ大ナル功ナケレハ封ヲ受ルテアタハス若悉皆我一族ヲ國主ニ封セハサマノ民ヲツカフアリテ甚辛若セニイカニソ萬民ヲクルレメテ我カ一族ヲ養ニヤコレニヨリテサキニ

封せしむ郡主其功ナキモノヲハ位ヲクダシテ縣公トス  
郡ヲ改テ縣トシ王ヲ改テ公トス郡ハ縣ヨリモ大ナリ  
王ハ公ヨリモ位高シ  
同十一年太宗思ヘラク周ノ世ニハ王ノ一族并ニ賢人  
臣ヲ立ラヒテ國ノ守トシ諸侯トメ八百年餘ツ、イテ  
不絶秦ノ始皇ノ時ニハ諸侯ヲヤメ國ヲ改メ郡縣トス是  
ハ諸侯大ナレハ謀反セシカト恐レアリトテ國持ヲヤメ  
吏ヲ置其所務ヲオサメ上ヨリ諸侯へ與テ國主トス  
トイハレ國ヲ我メ、ニスルヲカナハス吏ハ日本ノ代官地  
頭ノ意ナリ然ル間天下乱ルトキニ秦ノ諸侯モ王ノ  
親類モ力弱クメ乱ヲアセク、一吋サレハ僅ニ代ニシテ

亡ヒヌ漢ノ高祖崩メ後其右呂氏巴九門ヲ大ニメ高祖ノ  
子孫ヲ亡ントスルトキ高祖ノ一族大國小國ニ封セラレタ  
人々兵ヲ起シテ乱ヲハラヒ漢ノ世恙ナカリキ然レハ親  
類賢人ヲ封シテ國郡ヲ授ルハ我子孫長久ノ道ナリト  
テスナハチ勅シテ太宗ノ弟荆王元景太宗ノ次男吳王  
恪等二十一人并勲功ノ大臣長孫無忌房玄齡等十  
四人ヲ皆刺史トメ代メ其封國ヲ相續セシム此時李百  
藥トイヘル臣論奏シケルハ國ヲオサメ民ヲタスクルハ帝  
王ノ常ノ法君ヲ尊ヒ上ヲ安ニスルハ人心ノ大体也此道  
ヲ長ク代々ヒロメント思フハ古ヨリノ人心皆同シ然レハ  
天運命長短ノ不同アリ國家治乱ノ異ナルヲアリ周

八三十七代八百餘年秦ハ二世ニテ年久カラスメ滅亡  
 ス周ハ古ノ善惡ヲカ、ニテ仁義ヲ行ヒ本ヲ深クシ根ヲ堅  
 クス朝廷政ヲ正シテ人臣諸侯猶周ヲ尊フ故ニ逆心ノモ  
 スクナクメ王ノ子孫絶サリキ秦ハ古ノ教ニソムキテ自ラ  
 是ナリトシ聖賢ノ道ヲ用ヒス只要害ヲカマヘ險阻ヲタ  
 三都ヲ咸陽ニ立テ天下ノ諸侯ヲヤメ史ヲオキテ政ヲ  
 世シム始皇ノ一族尺寸ノ地ナク万民共ニオサメト思フ  
 願フシ故ニタヒ乱兵起テ秦ノ世末ク亡フ漢ノ高祖魏  
 武帝ハイヤレキ人ニテ先祖慥ナラサレ天命既スレ  
 ハ帝王トナル荒舜ノ聖ナリシモ其子不肖ナレハ他人ニ  
 ヲツル然レハ福祚ノ長短ハ必天ノ時ニアリ政事ノ興衰ハ

人事ニヨルナリ周ノ世末衰ストイヘ天文王武王ノ跡猶存ス  
 レ帝王ノ福ハステニ天道冥々ノ中ニ定レリ其内ニ周ノ昭  
 王南國ニ行幸メ不慮ニカラス平主乱ニ逢テ都ヲ東方ニ  
 ウツス其衰微ノキサシ封國ノタスケアラス秦ハ惡逆無道ナ  
 レハ二世ニテ亡ルフハ始皇カ位ヲ得フ昔ノ帝王ノ德ニ異ナ  
 リ其子又愚ニクラクメ小人ヲ用ユ此時始皇ノ一族始皇ノ  
 臣下タトヒ大名アリ兵多クアリ天命ニカナル漢ノ高  
 祖ニ敵對スルヲアタハシ得失モ成敗モ由來アルヲナリ然ル  
 ニ常ノ人ハ古今ヲ忘テ今ノ政ヲ古ノ道ニカヘサントス今  
 古ノ不同イカニ皆同クセンヤコレヲ舟ヲキサニテ劍ヲ求  
 ム柱ニ膠メ瑟ヲヒクト云ナリ昔江ヲ渡ルモノ誤テ劍ヲ水



中ニ落ス其フタタ艦フタタヲ刻キテレルレトレ 劍タツ子モトヲ尋モト求モトニト思フ舟行  
 テ水ホトトヲノ程速ヘタク隔ヘタルコロオロカナルフ也上ノ手ノ琴ヒク柱コトケヲ  
 膠ニカヲ以テツケテ已レカヒク時コレヲ用シトス柱ノアル處本  
 ヲリ定サタラス上下ニウツスフナリイカニソユレハナレサルヤウ  
 ニ膠ヲツケニヤ時ノ宜ヨシキヲ知サルタトヘ也今ノ政古ニ同カ  
 ラサルモ又如此ニ君明ナレハ安ク君暗ケレハ危シ封國ア  
 ルニヨリテ治亂チヲナスニハアラス朝廷若内亂ニハ外ノ封國  
 カハツテ仇アタヲナシ楸クヲナサニ家々風俗フウソクヲ別コトニレ國々各法ハツ  
 度トヲ同セス強シヨキハ弱ヨハキヲアナトリ衆フオキハ寡スウチキヲウハヒテ于カニクワキ戈キヲ  
 箭セニヤムハカラス只今官ヲ設セテ分ク賢人ニ任ジシ才能サイノウヲ  
 ツカヒ善人ヲ用テ相共ニ政ヲ世シメヨ何レノ世ニカ善人

ナカラニ求ムハ必ズアルフナリ若封國ホウノ子孫ウミ生ナカラ貴ク  
 先祖ノ辛勞シラウシタルフヲレラスレ巴レヲタカフリ先祖ヲイヤシ  
 ミイヨク淫亂インラン無禮ムレイニテ驕恣シヨホヒミニ宮殿樓閣ウツヲ多ク作リ人民  
 ヲ勞ソカラシ財寶サイハウヲツイヤサハバカ身ノホロヒシフ程ホト有ハカラ  
 スイカテカ君ノタメニ用ラルヘキヤト云父ノ官其子ニ相サウ應オウ  
 セスハ代々コレヲ司ツカサラレムハカラス賢ヲ用ルノ路ヲヒロク  
 スヘレ民ハ定サタレル主ナレ上ノチサケニヨリテ從レフ君トメコレ  
 ヲ思ヘレ今君ステニ大亂シヲ平ケ惡逆アクキヤクヲハラ井天連ウシ從レ  
 テ天子トナル愛敬アイケイスニテ勞スレハ倦ウミサルハ舜ノ孝チ  
 リ高祖ニツカヘテ朝暮オコタラサルハ文王ノ德ナリ法  
 官罪シアルモノヲ訴ウヘ尚書獄ウチヲ奏メスルトキハ大小必アキ

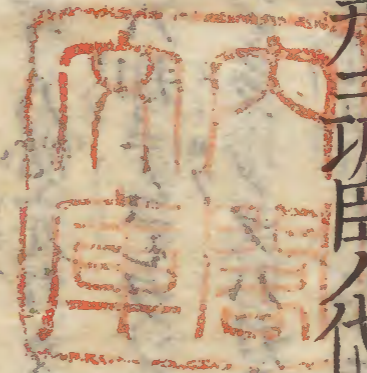
ラメ曲直コトクク舉テ肉刑ヲ輕クシ死罪ヲカユルハ仁心  
三ノ禹王ノ政ナリ色ヲ正クシ詞ヲスクニメ諫ヲウケイヤシ  
キモノ、イフヲモ聞タマフハ堯ノ意ナリ道ヲヒロメ學  
問ヲス、メ物知モノヲヌキニテヨキ儒者ヲアクルハ聖人  
ノ教ナリ君今此ア、タノ善ヲ兼合セテ身ニタモツ群  
臣奏シテ内裏暑氣ノハ御膳モイカ、アランノ閣  
ヲ高ク涼處ニツクリハレヤカニ御座アレカレト申ケレ  
凡其費用ナレトテ勅許ナレ又近年時アレク飢饉シ  
ケレハ甚アハレニ給テツトメテ專ニキハレメクニタマ、ハハ  
一人モ餓死ナレ民多野菜ハカリ食フトキ、テ君音樂  
ヲヤメラルアハレニイタメル色見ヘタマフ又四方ノ遠キ

ヒ、兼テニツキ物ヲ奉ル君イヨ、身ヲカハリニテエヒス來  
多ケレハ我本國ノ人ヲ勞セシテ慮リテツ、シ三有テ驕ナ  
シ又行幸ノ遊ヲト、メテ毎朝早ク政ヲキ、タマフ猶退  
屈セシテ恐レ思ヘリ朝政過テ後ヨキ臣下ヲ召テ是  
非ヲタ、シ心中カクサス思慮ヲイハレ、別ニチクサニ戯  
ルナレ目ステニタクレハ心シツカニ儒者學士ヲ招キ近  
クメレヨセ聖賢ノ書ヲヒラキ義理ヲ論談シ其間ニ詩  
文ヲ沙汰メ悦フ又夜ニ及テモオコタラス或ハ夜半ニモ  
書ヲヨミタマフ此等ノコ古來ノ帝王マレナルコナリ此  
風ノ及フ處天下アマ子カラスト云フ上レ今レハラク遠  
慮ニシテ封國ヲ仰世示サレシコオソカラス夫天地

モ三ツル時アリカクル時アリイハシヤ人ヲヤト申ス又馬  
周トイハル臣モ奏シケルハ今君ノ一門ヲオアルト功ノ大  
十九臣ト二國郡ヲ賜リ其子孫トテ永ク改ムレ大ナル罪  
ナクハレリソケマシトノ勅命アリト聞侍ル已レオモフ  
ハ一族ヲ國守トスルハコレヲ愛シコレヲ貴ヒ重センタヌ也  
然レ厄其子孫タルモノヨク法ヲ守リ礼ヲ行フキハ長久  
ナルヘシ不然ハ父祖ノ功ヲ梟ニアテ其身ヲ多カラリ無礼  
イタカナラハイカハアラシヤ我父祖ノ跡也トテ我物カホ  
二驕ニタレハタトヒ童兒ナリトイフ厄國守トナリテ國ヲタ  
モツハカラスイカニイハンヤ君ノタヌ何ノ用ニカ立シ萬民  
其害ヲウケ國家モ其身モ共亡シ荒弊ノ子タニモ愚

ナレハ天下ノ主トナルトアタハス父祖ノ跡ヲ斷絶セシトスレ  
厄子孫賢ナレハコレヲ斷絶セス父祖ノ跡ヲ立シトスレ厄子  
孫惡人ナレハコレヲ相續セシルトアタハス君臣ノ間古今  
此例多シ封國ノ代々長久ナラシトハ必定カタシ然レハ  
サキニコレヲ愛シコレヲ重セントスルハ却テコレヲソコナフナリ  
我思フニ國郡ノ大小ヲ分チ民戸ノ多少ヲハカリ遠近ノ  
處ヲカンカテ人ノ介際ヲ見入ノ才器ノレナニヨリテサ  
ツケラレハ後ヲ櫛ナク今ノ益アラシ昔漢ノ光武帝功  
臣ニ大國ヲタタヘス大ナラス小ナラス其人ノレナニ相應  
メ封セラレヌ政ヲセシメス政ニアツカレハ其アヤマチ有ト  
キユルレカタシ故ニ政ヲ行ハシメスメ分ニスキサルホトノ

國郡ヲ與ヘラルコシ其子孫代々相ツイテ末々モツル也  
光武帝ヨク切臣ハ相應ノ意アリト云ヘシ今君此心アリ  
テ切臣ニ大恩ヲタマハリ代々其福ヲ失サルヤウニシタ  
マ下申ス太宗此李百藥馬周兩人ノ奏スルヲキハ  
テケニモナリトテ太宗ノ子弟并ニ切臣ノ代々封セラ  
レテ刺史トナルヲ止ラル



文化庫

〇〇〇〇〇〇〇〇

眞觀政要該解卷上終

